

# 會務報告

第 25 卷第 2 號 昭和 14 年 2 月

## 役員會

### 第 23 回理事會 (昭. 13. 12. 19.)

出席者： 辰馬會長、新井、堀越兩副會長、金子、高橋、山崎、岡田、各理事、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任、糸川編輯主任

### 報 告

1. 工政會主催新東亞建設工業會議開設に關し報告せり。
2. 關西支部設置の土木事業計畫審査委員會水力部會報告別紙(省略)。

### 議 事

1. 土木士法案調査委員會の名稱を構造士法案調査委員會と変更することとせり。
2. 入退會の件別紙の通り承認せり。
3. 會費滞納 2 年に及ぶ會員淺井八重吉君外 45 名 准員井上敏道君外 81 名に對し定款に基き權利の行使を停止することに申合せり。
4. 基金の内公債價格を別紙計算書(略省)の通り評價し基金總額を変更することに申合せり。

### 第 24 回理事會 (昭. 14. 1. 9.)

出席者： 辰馬會長、金子、高橋、岡田各理事、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任、糸川編輯主任

### 報 告

1. 關西支部第 10 回役員會議事を報告せり。
2. 同支部昭和 13 年度中の事業を報告せり。
3. 西部支部第 2 回役員會議事を報告せり。
4. 中部支部第 3 回役員會議事を報告せり。
5. 東北支部長任期満了の處改選の結果鶴見一之君再選せられたり。

### 議 事

1. 關西支部昭和 13 年度收支決算別紙(省略)の通り承認せり。
2. 中部支部昭和 13 年度收支決算別紙(省略)の通り承認せり。
3. 西部支部内規中次の如く改正の件を承認せり。  
内規 第 2 條に次の第 3 項を加ふ。

「役員ノ改選期ハ毎年 1 月トス。但シ第 1 回役

員ノ任期ハ昭和 15 年 1 月迄トス」

第 7 條を次の如く改む。

「第 1 回ノ商議員は抽籤ニヨリ其ノ半數ハ其ノ任期ヲ第 2 條第 3 項但書ノ通りトス」

4. 通常總會開催日並に總會議事及順序を次の通りとせり。

開催日時 昭. 14. 2. 15. (水) 午後 4 時 30 分

會 場 帝國鐵道協會

總會順序及議案

- (1) 昭和 13 年度事業報告
- (2) 昭和 13 年度決算報告
- (3) 役員選舉の結果報告及紹介
- (4) 特定期間中入會金免除の件

「昭 14. 1. 1. より昭 14. 12. 31. 迄に新に入會を承認せられたる會員、准員、學生員に對し土木學會規則の規定に拘らず特に入會金の納付を免除することを得るものとす」

- (5) 昭和 13 年度土木賞牌の贈呈

(6) 會長講演

講 演 會

師講として滿洲國技術官の派遣方を要請し、同國特異性土木工事に就て講演を願ふこと。

總會及講演會終了後有志晚餐會開催(會費 2 円 50 錢)

5. 本會創立 25 周年記念事業として次の諸事業を計畫することに申合せり。

- (1) 本年度の年次學術講演會を繰延べ 10 月中旬記念講演會及見學會を開催すること。
- (2) 土木學會誌記念號として講演及記録を集録し發行すること。
- (3) 日本及滿洲の著名土木工事寫真帖を 1 ケ年乃至 2 ケ年計畫を以て蒐集し刊行すること。
- (4) 昭和 14 年度中新に入會したる一般會員に對し入會金を免除すること(別項記事参照)。
- (5) 記念事業資金を募集すること。
- (6) 土木會館の建設に就き攻究すること。

### 第 11 回常議員會 (昭. 13. 12. 19.)

出席者： 辰馬會長、新井、堀越兩副會長、阿曾沼、青木、海老、伊藤、岡田、金子、高橋(嘉)、松田、山崎各常議員、中村書記長、小野寺庶務主任、朝倉會計主任、糸川編輯主任

**報 告**

1. 入退會を別紙(省略)の通り承認せり。
2. 關西支部設置の土木事業審査委員會水力部會報告別紙(省略)。
3. 土木士法案調査委員會の名稱を構造士法案調査委員會と変更せり。
4. 土木映畫資料懸賞入選者を別紙(省略)の通り決定せり。

**議 事**

1. 請負工事標準契約書は會誌を以て發表せる原案に依り印刷し關係諸官廳其他へ配布し希望者には相當價格にて頒布することとせり。
2. 名古屋帝國大学内に土木工学科設置方建議することとし文案に就ては會長一任とせり。
3. 北海道支部昭和14年度收支豫算別紙(省略)を承認せり。
4. 西部支部昭和14年度收支豫算別紙(省略)を承認せり。
5. 會費滞納2年に及ぶ會員淺井八重吉君外45名、准員井上敏道君外81名に對し定款に基き權利の行使を停止することとせり。
6. 昭和14年度收支豫算を別紙(省略)の通り承認せり。

**調 査 部 記 事**

**地下構造物に於ける鋼材節約調査委員會幹事會**(昭. 13. 12. 12.)

出席者： 山口, 山崎, 水谷各委員, 中村, 牧野兩幹事, 中村書記長, 小野寺庶務主任

**協議事項**

1. 前回委員會に於て選定した研究項目に就き逐條審議をなし, 1月開催の委員會までに原案を作成することとせり。

**法 制 部 記 事**

**第7回土木士法案調査委員會**(昭. 13. 12. 10.)

出席者： 眞島委員長, 阿部, 神原兩委員, 野原幹事  
中村書記長

**議 事**

1. 本委員會名稱を構造士法案調査委員會とすることとせり。
2. 阿部委員に於て構造士法案議會提出に關する理由書を起草し, 次回委員會に於て協議することとせり。

り。

3. 構造士法案提出理由書をパンフレットに印刷し必要と認むる諸官廳及議員に配布することとせり。
4. 土木學會より内務省, 司法省, 企畫院等に對し構造士法案提出の理由を陳情することとせり。
5. 土木に關し理解ある代議士を招待して構造士法案の内容を説明し, その趣旨に賛成を求め同時に議會に提出の時期等に就て意見を聴取することとせり。

**關 西 支 部 記 事**

**第10回役員會**(昭. 13. 12. 19.)

出席者： 島崎支部長, 鈴木(角), 岩井, 石原, 稻浦各商議員, 荻原幹事長, 柴田幹事, 島, 清水, 岩田, 後藤各前支部長, 山本主事

**議 事**

1. 昭和13年度決算報告の件
2. 昭和14年度大會の件
3. 昭和13年度事務及事業報告の件
4. 土木事業計畫審査委員會水力部會報告の件

**各種委員會の開催**

1. 土木事業計畫審査委員會第6回水力部會(昭. 13. 11. 14.)
2. 同 第6回材料部會(昭. 13. 12. 2.)
3. 同 第6回橋梁部會(昭. 13. 12. 3.)
4. 同 第4回河川部會(昭. 13. 12. 8.)
5. 同 河川部小委員會(昭. 13. 12. 21.)
6. 同 第2回港灣部會(昭. 13. 12. 23.)

**東 北 支 部 記 事**

支部長改選 昭. 13. 12. 17. 選舉の結果鶴見一之君再選せられたり。

**北 海 道 支 部 記 事**

映畫の夕開催(昭. 13. 12. 17.)

出席者約100名

映畫 ニューズ 2巻  
日の影線網の瀬掛橋工事實況 2巻  
雪 麴 2巻

**中 部 支 部 記 事**

**第3回役員會**(昭. 13. 12. 20.)

出席者： 北澤支部長, 奥田, 大西, 永田, 中各評議員, 塚本幹事長, 杉戸, 比企野各幹事

## 報 告

1. 支部會議經過報告
2. 岐阜部會座談會概況報告

## 議 事

1. 昭和 13 年度決算報告の件
2. 大會講演會講師に記念品贈呈の件
3. 静岡部會座談會開催の件
4. 役員補缺の件

## 座 談 會

1. 愛知部會第 1 回座談會(昭. 13. 11. 19.)
2. 岐阜部會第 1 回座談會(昭. 13. 12. 10.)

## 西部支部記事

## 第 2 回役員會(昭. 13. 12. 17.)

出席者：君島支部長、伊藤、小早川、土肥、松尾、三瀬、三原、山田各商議員、鯨島幹事長、安藤、大川(代理)、細川各幹事

## 報 告

1. 支部長會議經過報告
2. 發會式會計報告

## 議 事

1. 昭和 14 年度收支豫算の件
2. 昭和 14 年度事業計畫の件
3. 事業資金募集の件
4. 會員特別員募集の件
5. 役員任期の件
6. 事務取扱の件

## 土木學會昭和 13 年關西大會記事

(昭. 13. 10. 23.)

土木學會關西支部に於ては、本年初めの役員會の議決により例年春又は秋に關西大會を開催することとし昭和 13 年關西大會は 10 月京都に開催されることになつた。そこで 7 月支部長の依頼により京都帝國大學京都府及京都市に勤務する會員約 20 名からなる關西大會委員會が組織され、8 月より具体的に準備が進められた。委員會を開く事 4 回、準備一切を終へて 10 月初め關西支部會員各位に案内状を出し、本部及他支部に夫々招待状を出したる所、參加申込者は豫想外に多く、850 名に達し、當日の盛會を思はしめた。

## 1. 講演會

當日天氣頗る良く、早朝より來會者続々參集し、午前 8 時 30 分振鈴を合図に着席し、直に次の次第によ

つて幹事長荻原基治君司會の下に講演が進められた。講演會出席者 300 名を越え、會場である京大法経第 4 教室は滿員の盛況であつた。

1. 開會の辭：會員 工学士 荻原基治君
2. 支部長講演：會員 工学博士 島崎孝彦君

## 3. 講演

- (1) 吹田操車場に於ける新設ハンプの設計に就て  
(縦断形状の考案) 會員 坂元左馬太君
- (2) 地方計畫の眞髓  
會員 工学博士 武居高四郎君
- (3) 下水處理場に於ける汚泥瓦斯發生量と其の動力的利用に就て  
會員 中條都一郎君
- (4) 防波堤の使命 會員 工学士 林 千秋君
- (5) 黒部川第 3 號發電所工事中、阿曾源温泉地帯高熱隧道工事に就て  
會員 工学士 藤井雄之助君
- (6) 大阪市地下鉄工事に就て  
會員 工学士 光井三郎君

4. 閉會の辭：會員 工学士 荻原基治君

先づ荻原基治君壇上に立ち、關西大會開催に至る主旨及經過を述べ、本大會が土木界の進歩及會員各位の親睦を図る上に寄與する所多大なるものあるべしと結んで、開會の辭とせられた。

次いで支部長講演をなすべく島崎孝彦君登壇、爆彈の威力及其の被害に就いて理論、實例兩方面より約 25 分間に亘つて詳述し、我々土木技術者は防空上多大の關心を持ち、設計施工に萬遺憾なきを期すべき事を強調して、聴講者に多大の感銘を與へられた。

午前 9 時より會員の講演に移り、坂元左馬太君以下 6 名の會員が夫々 30~35 分間に互り別紙講演豫稿の如き講演を行つた。講演者は何れも多年の研究の精華を要領よく熱心に論述され、斯界に益する所が極めて多かつた。

此處に講演を終了し、島崎支部長は起つても氏の講演者に對し敬意と感謝の意を表する爲、拍手を以てする事を語り、嵐の如き拍手の後午後 0 時 20 分荻原基治君の開會の辭が述べられた。

## 2. 見學會

午後 1 時觀山電車出町柳驛に集合した參加者 150 名は打揃つて、電車にて三宅八幡驛に至り、鴨川支川高野川の改修工事を見学し乍ら徒歩にて八瀬に向つたが、途中鴨川改修事務所長永田年氏より改修工事に就て詳しい説明があつた。

次で2時過ぎ八瀬よりケーブルカーにて四明嶽驛に至り、比叡の山頂に登つて京都滋賀一帯を眼下に見下し、秋色を賞でつゝ、和氣霧ヶ裡に根本中堂に着いた。茲にて小憩後更に坂本ケーブルカーにて下山し、日吉神社に参詣、京阪坂本驛に着いたのは5時過であつた。之にて見學會を終了し、懇親會參加者以外は電車にて京都に至り、6時頃解散した。

3. 懇親會及座談會 (於琵琶湖ホテル)

見學會の歸途、約100名の會員が琵琶湖ホテルに集合し、盛大に行はれた。

懇親會は6時過開會デザートコースに入るや、平野正雄君立つて支部長代理として挨拶を述べられ、続いて來賓を代表して西部支部幹事長鮫島茂氏が立ち、關西支部の活躍愈々盛なるを祝し、西部支部の發展に對し今後の聲援を願ひ度き趣を述べられた。次で會員を代表して西義一君が立ち、今夏神戸の大水害に對する各位の救援を謝し、今後の指導及援助を望んで挨拶にかへられた。

斯くして7時半頃懇親會を終り、続いて河水統制問題を中心とする座談會に移つたが、先づ高西敬毅君が立ち、淀川水系に關する從來の改修、現在の利水問題を述べ、更に今夏の大水害後愈々其の必要を痛感されるに至つた淀川強補の計畫につき詳細な説明をなし、工事費2450萬圓を以つて急ぎ着工すべき事を強調され

た。

之に對し三池貞一郎君が立ち、淀川と戰爭と題し、日清戰爭の償金を以つて最初の淀川改良工事が着手され、日露戰爭の際には毛閘閘門の工事遂行に多大の苦心が拂はれ更に今回の淀川強補工事が日支事変に際して計畫されるに至つたと、極めて興味深いお話がなされた。次で坂本助太郎君は、淀川工事の懐古談と題し、大正7年の増補工事に際し3川合流問題を解決し各方面の反對を押切つて大きな堤防を造つた所、600萬圓の豫算が1600萬圓も必要であつたと當時の模様を詳しく述べられた。更に荻原基治君が立ち、今回の淀川強補問題は決して新しいものでなく、坂本助太郎君の意志をついで絶對安全な堤防を造るべく努力してゐるのであるから、各位の援助を希望する趣を述べられた。

最後に平野正雄君が立つて挨拶を述べられ、萬歳裡に盛大に座談會を終つた。時に8時半、一同バスにて濱大津に至り、電車にて歸途についた。

その他記事

○昭 13. 12. 15. 土木學會々員名簿昭和 14 年度用を發行し全會員に配布せり。

○昭 13. 12. 25. 土木學會誌第 25 卷第 1 號を發行成規の手續を了し全會員に配布せり。

入 會 及 転 格 會 員

特 別 員 (入 會)

宇部セメント製造株式会社	藤本 磐 雄君	3 級	
小野田セメント製造株式会社	狩野 宗 三君	朝柳信太郎君	2 級
沖ノ山炭礦株式会社	名和田 哲 郎君	3 級	
東見初炭礦株式会社	國吉 信 義君	3 級	

會 員 (入 會)

安倍喜藏君	福島縣廳土木課	伊庭芳富君	富士電力會社	竹下定吉君	静岡市役所土木課
青野源一郎君	静岡縣袋井土木出張所	加藤 毅君	静岡市役所土木課	塚越太郎君	秋田縣廳地課

准 員 (入 會)

足立行雄君	山口縣廳土木課	一柳正雄君	内務省名古屋土木出張所 土岐川砂防工場	川谷悅郎君	滿鉄通化連絡事務所
阿部他吉君	滿洲國交通部航路司工事科	岩田 弘君	山口縣廳土木課	川村正義君	岐阜市役所土木都市計畫課
相葉 忠君	内務省天龍川改修事務所	岩松常次君	岐阜市役所土木都市計畫課	清末 晴君	山口縣廳土木課
赤津正尚君	大分縣土木課	藤塚延次郎君	内務省木曾川下流改修増補事務所	古賀 茂君	岐阜市役所水道課
井手房太郎君	内務省名古屋土木出張所 中津川砂防工場	戒能長次郎君	岐阜縣廳土木課	幸野 慶藏君	内務省名古屋土木出張所
伊藤伴一君	内務省名古屋土木出張所 土岐川砂防工場	影山正勝君	大分縣廳土木課	佐藤久松君	〃
飯塚正雄君	株式會社鹿島組	金井彌七君	内務省菊川改修事務所	榎原清太郎君	内務省名古屋土木出張所 名古屋市役所土木工務課
池田 眞君	〃	萱場 修君	逓信省逓信局警備課	笹野 久君	〃

直原 貞君 株式会社鹿島組  
 鷲見五百三君 内務省木曾川下流改修増補事務所  
 須和俊邦君 岐阜市役所水道課  
 杉戸 保君 名古屋市役所土木部工務課  
 杉野 憲一君 滿洲國交通部航路司工務科  
 鈴木 巖君 内務省博多港修築事務所  
 田内守雄君 愛知縣名古屋港務所  
 田中忠治郎君 金剛山電氣鐵道會社  
 田中理夫君 内務省矢作川改修事務所

淺野利治君 神戸高工  
 猪野 茂君 日大工学部  
 石川 清君 仙臺高工  
 沖 正巳君 日大工学部  
 北田脩一郎君 “  
 金 洙 珍君 武藏高工  
 小松雅彦君 京都帝大

相良 正君 静岡縣土木部河港課  
 高木 健君 “ “ 道路課  
 中山 滋君 滿鉄奉天建設事務所

高橋貞一君 富士電力會社  
 土橋 豊君 岐阜市役所水道課  
 戸田福三郎君 岐阜縣廳土木課  
 中島清治君 内務省名古屋土木出張所  
 中村耕作君 大分縣廳土木課  
 長屋三郎君 愛知縣半田土木工區事務所  
 馬場繁榮君 大分縣廳土木課  
 日野 博君 愛知縣名古屋港務所  
 樋田 鎮夫君 名古屋市役所土木部工務課

学 生 員 (入 會)

繁井功一君 徳島高工  
 島津 博君 名古屋高工  
 杉尾捨三郎君 京都帝大  
 住田 敦夫君 神戸高工  
 丹野政次郎君 東京高工  
 野口 孝君 日大工学部  
 三好貞介君 神戸高工

會 員 (転 格)

萩野璋太郎君 鉄道省秋田建設事務所  
 廣瀬榮次郎君 静岡縣静岡土木出張所

藤永勝之君 利根ボーリング株式會社  
 古垣 速雄君 福岡縣廳土木部都市計畫課  
 宮地 昇君 三菱筑豊礦業所  
 矢口 武君 内務省天龍川改修事務所  
 山崎一夫君 群馬縣廳土木課  
 和久井敏夫君 名古屋市役所土木部工務課  
 山崎博之君 宮崎縣營電氣建設部  
 田中 勝美君 内務省狩野川改修事務所  
 玉木 寅彦君 岐阜市土木課

村上治祥君 日大工学部  
 森本 繁君 關西高工  
 佐藤雄一君 日大工学部  
 百田 孝君 “  
 横澤 聰夫君 “  
 後藤正三君 京都帝大  
 豊田彌彦君 “

眞崎 力君 大倉土木會社  
 村上 正君 岩手縣廳土木課

准 員 (転 格)

向井庸夫君 内務省土木局第一技術課

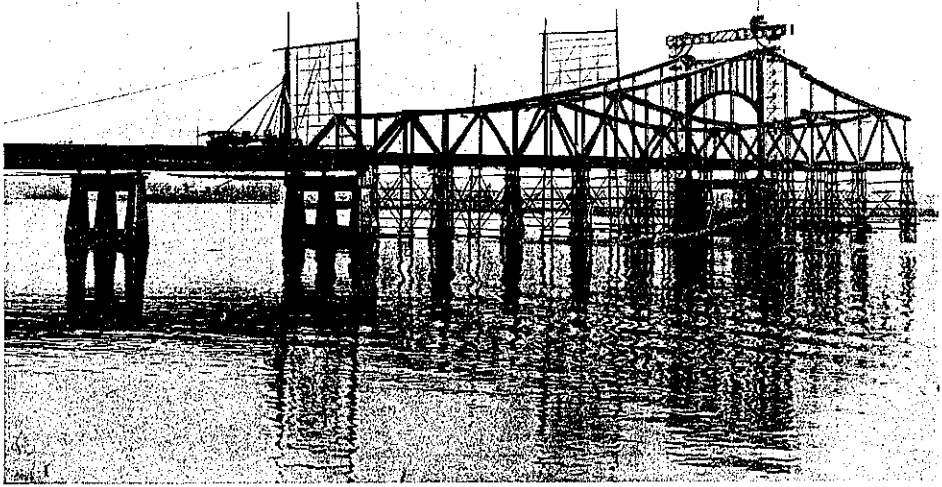
土 木 学 會 々 員 數

(昭. 13. 12. 19. 現在)

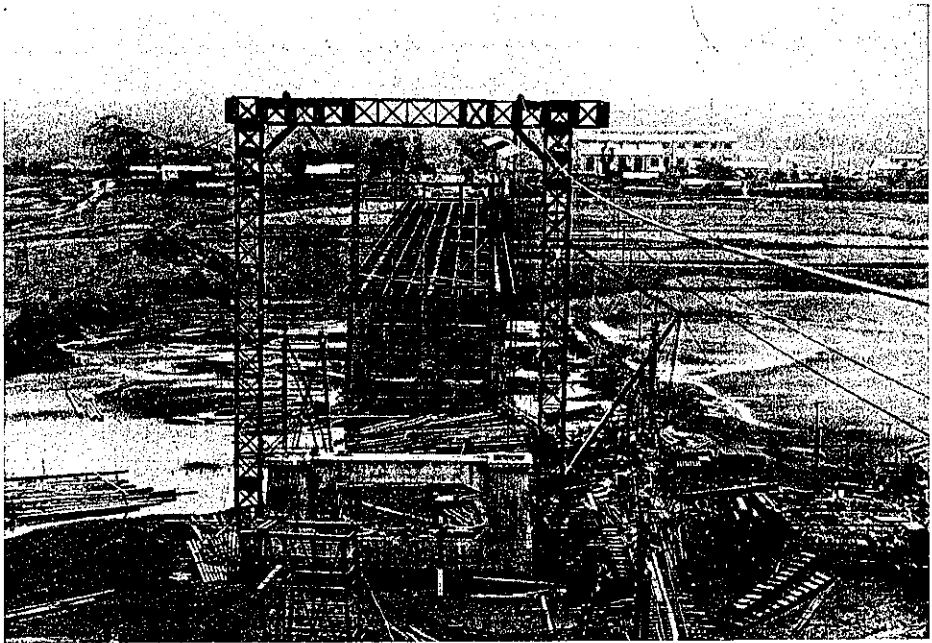
會 員	准 員	学生員	特別員	賛助員	合 計
3 205	3 710	1 093	81	21	8 110

# 工事中の大師橋（神奈川県—東京府）

（時報欄参照）



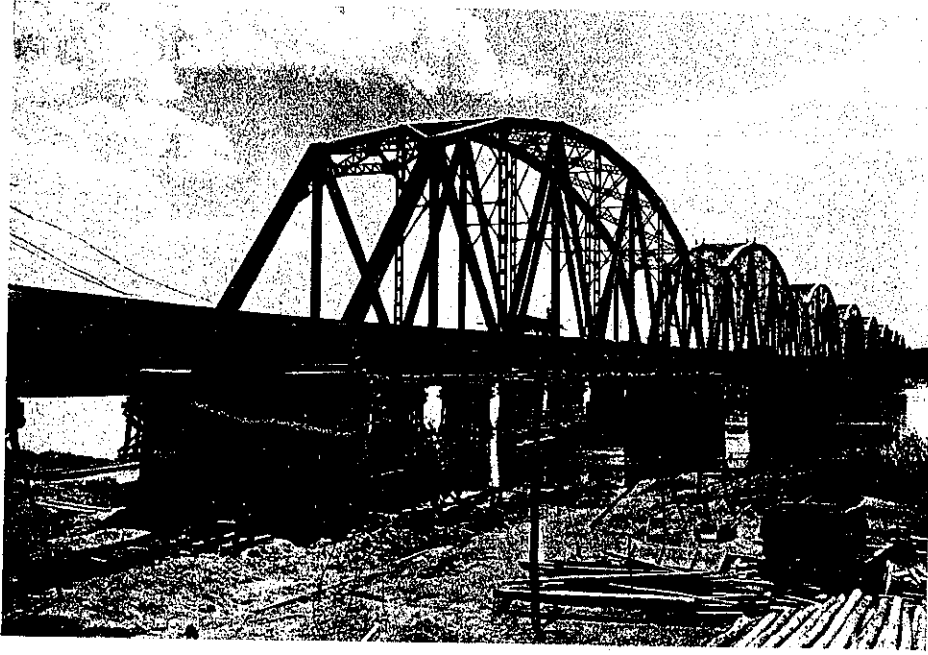
トラスの架設を東京側より望む



第3號橋脚より川崎側を望む

# 竣功せる阿武隈川橋梁

(彙報欄参照)



位置：常磐線互理岩沼間

339 k 086 m

径間：構桁 60.92 m

8 連及鈹桁 18.29 m

9 連延長 690 m

總工費：350,000 円

着工：昭和12年5月14日

竣功：昭和13年11月26日

